

修身説約 卷ノ九

復刊版



群馬地域文化振興会

修身說約卷ノ九

木戸 麟 編纂

第一

元弘三年、村上彦四郎義光ハ、其ノ子義隆ト共ニ
護良親王ニ從ヒ、吉野ノ城ニ在リケルガ、東國ノ
賊軍四方ヨリ攻メ圍ミテ、城兵多クハ戰死シ、外
城既敵手ニ陷レリ、親王短兵ヲ以、接戰數合ニシ
テ、退キテ左右ト酒ヲ酌ミテ、慨歌セリ、義光、鎧上
ニ矢ノ集ルコト蝟毛ノ如ク、雄姿颯爽トシテ來
リ、跪キテ曰ハク、賊焰熾盛ニシテ、城支フ可カラ

ズ、臣願ハクハ大
 王ノ鎧装ヲ賜ノ
 リ、詭リテ大王ト
 爲リテ死セン大
 王間ニ乗ジテ遁
 レ去レト、護良ノ
 曰ハク、死セバ則
 共ニ死セン、何ゾ
 相棄ツルニ忍ビ
 ンヤト、義光聞カ



晴
 彦
 真

ズ、起チテ自、親王ノ鎧ヲ解ケリ、親王已ムコトヲ
得ズシテ、之ヲ許シ、涙ヲ垂レテ去レリ、義光乃其
ノ鎧ヲ被テ譙樓ニ登レバ、義隆來リテ、偕ニ死セ
ントス、義光ノ曰ハク、汝亟ニ去リテ、王ニ從ヒ、其
ノ後ヲ拒ゲ、徒ニ死スルコト勿レト、義隆泣キテ訣
レ去レリ、義光遙ニ親王ノ去ルコト遠キヲ見テ、大
呼シテ敵軍ニ向ヒテ曰ハク、我ハ今上ノ第三子
護良ナリト、乃腹ヲ劃キ、腸ヲ抽キ、壁ニ擲チテ斃
レケルニゾ、賊四集シテ、其ノ首ヲ斬リテ去レリ、
既ノ吉野執行ノ兵五百騎、親王ヲ途ニ遮レリ、義

隆單身留リ鬪ヒテ、數人ヲ斬リ、其ノ身モ十餘創
ヲ蒙リケルガ、親王ノ去ルコト既遠キコトヲ知
リケレバ、一叢竹ノ中ニ走リ入リテ自殺セリ、親
王終ニ免レテ、高野山ニ至ルコトヲ得タリ、義隆
時ニ年十八ナリ、

第二

蜀漢ノ趙雲字ハ子龍、常山真定ノ人ナリ、蜀帝劉
備ニ事ヘテ、五虎將軍ノ一人タリ、劉備、曹操ノ軍
八十三萬ト、荊州ニ戰ヒ、利アラズシテ、北ニ走リ
ケルトキ、趙雲、劉備ノ家孥ヲ護レテ、之ニ從ヘリ、